

### 中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

道徳の時間はもとより、各教科の授業を含む様々な教育活動において、礼儀や規律を大切に、自他を認め合おうとする子を育てます。

### 児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

落ち着いて穏やかに生活をしている。「人の気持ちを考えて行動している」という意識が高い。学校や学年・クラスの取組に対して積極的に関わり、集団をより良くしていこうという意識が見られる。中学校ブロックで取り組んでいるあいさつ運動についても、効果が出始めている。一方で、自分の思いのままに行動し周りの友達を傷つけていることに気づかないことや、コミュニケーション力不足から周りの友達とよい関係を築きにくい様子が見られる。

### 「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・全教育活動を通して道徳活動の充実を図る。
- ・たてわり「なかよし活動」の充実を図り、異年齢集団活動を通し、思いやりの心や協力する心を育てる。
- ・家庭や地域との連携を図り、様々な人と関わることでコミュニケーション力を高める。



#### 指針1 「道徳の時間」の充実

- ・1月の授業参観では、全学級で道徳の授業を公開する。
- ・道徳教育について、家庭、地域に発信する。

学校掲示板、学校便り、学級だより等にて家庭・地域に発信し、意識の啓発を図るとともに、連携して子どもを育む。【視点1】

#### 指針2 体験活動の充実

- ・たてわり「なかよし活動」など異年齢活動を充実させる。

「児童会活動」「クラブ活動」「たてわり活動」「他学年交流」「幼稚園・保育園との交流」など異年齢集団活動をより自主的、意欲的に行う。

- ・児童指導部と高学年児童との連携を図る。

朝会で高学年による全校児童へより良い学校を目指した取り組みや投げかけを行う。【視点3】

#### 指針4 豊かな感性や情操の育成

- ・朝読書、保護者の読み聞かせ「ほのぼのタイム」の充実を図る。

豊かな読書経験を通して、様々な人の気持ちを考えることができる子どもを育む。【視点11】